「多国籍企業の研究開発における知識・情報の共有とグローバル人材に関するアンケート調査」（個人調査）

あなたご自身のことについてお聞きします。選択肢の質問には該当する番号に一つだけ○をつけて下さい。

F1　性別：　１．　男性　　２．　女性

F2　国籍：　＿＿＿＿＿＿

F3　年齢：　＿＿＿歳

F4　現在の会社での勤続年数：　＿＿＿＿年（出向中の方は出向元企業での年数をご記入下さい）

F5　最終学歴（最後に卒業・修了した学校、あるいは相当する学歴）：

１．　高卒　　２．　専門学校・短大・高専卒　　３．　理系大卒　　４．　文系大卒

５．　理系大学院・修士課程修了　　６．　文系大学院・修士課程修了

７．　理系大学院・博士課程修了　　８．　文系大学院・博士課程修了

F6　博士号取得の有無：

１．　大学院在籍時に取得　　２．　就職後に取得　　３．　未取得

F7　現在の勤務先の業種

１．電気機器	２．輸送用機器	３．化学	４．医薬品
５．一般機械	６．精密機器	７．情報・通信	８．その他（　　）

F8　現在の担当職務領域（複数選択可）：

１．　基礎研究　　２．　応用研究　　３．　開発　　４．　設計　　５．　その他；具体的に＿＿＿

F9　現在の勤務先との雇用関係：

１．　正規社員　　２．他社からの出向　　３．非正規社員　　４．その他；具体的に＿＿＿＿

F10　現在の役割：

１．　もっぱら研究開発を行っている　　２．　研究開発だけでなく管理業務も行っている

３．　もっぱら研究開発の管理業務を行っている　　４．　その他；具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿

F11　現在の役職：

１．役職なし　　２．係長・主任相当　　３．課長相当

４．部・次長相当　　５．重役以上　　６．その他；具体的に＿＿＿＿＿

F12　現在の勤務地（都道府県でお答え下さい）：＿＿＿＿＿＿

F13　昨年１年間の給与所得（税込み）：　約＿＿＿＿＿＿万円

F14　通常１ヶ月の残業時間：　約＿＿＿＿時間

以下、本調査では「職場」は、同一事業所内で、日常的に一緒に仕事をする仲間（上司や部下も含む）によって構成される場を指します。

【A 群】知識・情報の移転・交換についてお尋ねします。

Q1　現在の職場内の交流について以下の設問にお答え下さい。

(1) 現在の職場に配属されて何年たちますか。　＿＿＿＿＿＿＿年

(2) あなたの職場のメンバーの主な担当職域で該当するものをすべて選択し、該当する番号に○をつけて下さい。

１．あなたと同じ研究・技術開発領域　　２．あなたと異なる研究・技術開発領域
３．国内マーケティング・営業　　４．海外マーケティング・営業　　５．管理業務
６．その他　　具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 職場内のメンバーと交換・共有する知識・情報の種類について、該当するものをすべて選択し、該当する番号に○をつけて下さい。

１．先端知識　　２．研究・技術のシーズや動向　　３．問題解決のための科学技術に関する知識
４．ビジネスに関する知識・情報　　５．自社の製品に関する知識・情報
６．その他　　具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(4) 職場内メンバーからの知識や情報は、あなたが仕事を遂行する上で十分ですか。下記の選択肢から一つ選び、その番号に○をつけて下さい。

１．不十分である　　２．十分とはいえない　　３．おおよそ十分である　　４．十分である

(5) 職場内の半数以上が参加するフォーマルなミーティング（会議、朝礼など）の頻度について、最も近いものを一つ選び、その番号に○をつけて下さい。

１．１ヶ月に１回以下　　２．１ヶ月に２回　　３．週に１回　　４．週に数回　　５．ほぼ毎日

(6) あなた以外の職場の構成メンバーについて、下記の属性に該当する人はいますか。下記の選択肢からすべて選び、その番号に○をつけて下さい。

１．外国人　　２．女性　　３．海外派遣からの帰国者　　４．海外留学経験者　　５．転職経験者

(7) あなたは職場の人と、飲み会など会社の外でのつきあいをどの程度行っていますか。最も近いものを一つ選び、その番号に○をつけて下さい。

１．全くない　　２．年に数回　　３．１ヶ月に１回　　４．週に１回　　５．週に数回以上

Q2　職場内の知識・情報移転について以下の設問にお答え下さい。

職場外から獲得した以下の知識・情報を職場内の他の人に積極的に教えたり共有したりしていますか。以下の各項目について、知識・情報移転の積極性（消極的である＝１、やや消極的である＝２、どちらともいえない＝３、やや積極的である＝４、積極的である＝５）を一つ選び、その番号に○をつけて下さい。ただし、職場外から得られない知識・情報については、有無の欄に×をつけ積極性の程度には回答しないで下さい。

	有無	消極的　　積極的 １・・・・・２・・・・・３・・・・・４・・・・・５				
①　先端知識		1	2	3	4	5
②　研究・技術のシーズや動向		1	2	3	4	5
③　問題解決のための科学技術に関する知識		1	2	3	4	5
④　ビジネスに関する知識・情報		1	2	3	4	5
⑤　自社の製品に関する知識・情報		1	2	3	4	5

Q3　下記の表Ａに書かれた知識・情報の交換相手（職場外）について、あなたが過去１年間に最も多く交換を行った人を一人思い浮かべて下さい。

(1)　思い浮かんだ場合には、表Ａの「**(1)有無**」の欄に○をつけ、その人との関係について(2)~(5)の設問にお答え下さい。思い浮かばなかった場合には「**(1)有無**」の欄に×をつけて下さい。

(2)　各交換相手との交換の頻度（ほとんどない＝１、たまにある＝２、ある＝３、やや頻繁にある＝４、頻繁にある＝５）を一つ選び、表Ａの「**(2)頻度**」の欄の該当する番号に○をつけて下さい。

表Ａ

知識・情報の交換相手	(1)有無	(2)頻度 ほとんどない　　頻繁にある (1年に1回以下)　(1～2ヶ月に1回)　(週1回以上) １・・・・・・・・２・・・・・・・・３・・・・・・・・４・・・・・・・・５				
社内他職場の研究開発者		1	2	3	4	5
社内他職場の非研究開発者		1	2	3	4	5
国内他社，大学，研究機関の研究開発者		1	2	3	4	5
海外貴社の研究開発者		1	2	3	4	5
海外他社の研究開発者		1	2	3	4	5

(3)　思い浮かんだ相手と交換する知識・情報の種類について、下記の選択肢から重要なものを二つまで選び、それらの番号を表Ｂの「**(3)知識の種類**」に記入して下さい。

１．先端知識　　２．研究・技術のシーズや動向　　３．問題解決のための科学技術に関する知識

４．ビジネスに関する知識・情報　　５．自社の製品に関する知識・情報

６．その他　具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(4)　各交換相手とは何年間交流を続けていますか。その年数を表Ｂの「**(4)交流期間（年）**」に記入して下さい。ただし、１年未満の場合は、「１年未満」と記入して下さい。

(5)　各交換相手の勤務地について、国内の場合は都道府県名、海外の場合は国名を表Ｂの「**(5)相手の勤務地**」に記入して下さい。

表B

知識・情報の交換相手	(3)知識の種類		(4)交流期間	(5) 相手の勤務地
社内他職場の研究開発者				
社内他職場の非研究開発者				
国内他社, 大学, 研究機関の研究開発者				
海外貴社の研究開発者				
海外他社の研究開発者				

【B群】あなたの過去のキャリアや現在のキャリア感についてお尋ねします。

Q4　過去に転職を何回経験されましたか。また、現在所属する会社内での異動をこれまでに何回経験されましたか。それぞれについて該当する番号に一つ○をつけて下さい。ただし、グループ会社（子会社や関連会社等）への出向は会社内異動に含めるものとします。

転職	1．1回	2．2回	3．3回	4．4回	5．5回以上	6．経験なし
会社内異動	1．1回	2．2回	3．3回	4．4回	5．5回以上	6．経験なし

Q5　あなたのキャリアに関する考え方について、以下の項目はどの程度該当しますか。各項目について、当てはまる程度（該当しない＝1、あまり該当しない＝2、どちらともいえない＝3、やや該当する＝4、該当する＝5）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	該当しない 1・・・・・	2・・・・・	3・・・・・	4・・・・・	該当する 5
①転職や異動を通じて、自分の能力を向上させたい	1	2	3	4	5
②キャリア・パスを決める時は、他人の影響よりも自身の判断を重視する	1	2	3	4	5
③自分の能力や経験をもっていれば、社外に新しい職を得ることは容易だ	1	2	3	4	5
④現在所属する組織で成長できなくなったら、社外にその機会を求める	1	2	3	4	5
⑤自分の専門に拘らず労働市場で求められている能力をすすんで習得したい	1	2	3	4	5
⑥機会があれば海外赴任をしたい	1	2	3	4	5

Q6　これまでの海外渡航について、経験したことがある項目をそれぞれ期間別に○をつけて下さい（複数回答可）。なお、該当期間中に海外渡航経験がない場合、進学していない場合などのように、該当しない場合は一番右側の「経験なし・非該当」に必ず○をつけて下さい。

経験 / 期間	短期留学（半年未満）	長期留学（半年以上）	赴任	出張（学会含む）	旅行	経験なし・非該当
高校時代まで						
大学時代						
大学院時代						
社会人時代						

経験4項目（短期留学・長期留学・赴任・出張）に一つでも○がある方は(1)へ／ない方はC群へ

(1) 海外への留学・赴任・出張に関する経験がある方のみにお尋ねします。期間中に最も長く滞在された渡航先の国（地域）名を、それぞれ該当する枠に一つだけ記入して下さい。（該当しない枠は、空欄のままで結構です）

経験 期間	留学 （短期・長期含む）	赴任	出張 （学会含む）
高校時代まで			
大学時代			
大学院時代			
社会人時代			

海外赴任経験のある方は(2)へ／ない方はC群へ

(2) 過去に 1 度でも海外赴任経験がある方のみに赴任中の行動や赴任のメリットについてお尋ねします。以下の各項目について、当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に〇をつけて下さい。

	該当しない 1	2	3	4	該当する 5
① 赴任中は本国（日本）と常に情報交換を行っていた	1	2	3	4	5
② 赴任中は精力的に現地での人脈作りを行っていた	1	2	3	4	5
③ 外国人の仕事の進め方や思想・行動を認知・理解できるようになった	1	2	3	4	5
④ 海外のマーケット・商慣行・顧客のニーズを理解できるようになった	1	2	3	4	5
⑤ 異なる文化的バックグラウンドの人たちから知識・スキルを引き出して組織を率いることができるようになった	1	2	3	4	5

(3) 現在所属する会社（グループ会社含む）で海外赴任経験がある方のみにお尋ねします。あなたが海外赴任された際の経験や、海外からの帰任後の経験に関する以下の各項目について、当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に〇をつけて下さい。

	該当しない 1	2	3	4	該当する 5
①あなた自身の希望が重視されて海外赴任することになった	1	2	3	4	5
②あなたの海外赴任中はあなたや家族へのメンタルヘルスケアが行われた	1	2	3	4	5
③海外からの帰任後は海外赴任時の経験を活かせる業務を担当している	1	2	3	4	5
④海外からの帰任後は海外の知識・技術・文化を職場に導入し広めている	1	2	3	4	5
⑤海外からの帰任後は海外拠点とのブリッジとしての役割を果たしている	1	2	3	4	5

【C 群】 仕事に対する態度・考え方・能力についてお尋ねします。

Q7　あなたはご自身の仕事・会社に対してどのように感じていますか。各項目について当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	該当しない 1	2	3	4	該当する 5
①　現在担当している仕事は好きである	1	2	3	4	5
②　現在担当している仕事を続けていきたい	1	2	3	4	5
③　自分は仕事の能力がないと感じる	1	2	3	4	5
④　現在担当している仕事に達成感を感じることが多い	1	2	3	4	5
⑤　今働いている会社に愛着を感じている	1	2	3	4	5
⑥　今働いている会社でこれからも働きたい	1	2	3	4	5
⑦　仕事をするにあたって、給料をとても重視している	1	2	3	4	5
⑧　仕事をするにあたって、昇進・昇格をとても重視している	1	2	3	4	5
⑨　仕事をするにあたって、上司や同僚から褒められたり認められたりすることをとても重視している	1	2	3	4	5
⑩　仕事をするにあたって、仕事内容をとても重視している	1	2	3	4	5

Q8　あなたは知識・情報の移転についてどのように考えていますか。各項目について当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	該当しない 1	2	3	4	該当する 5
①　職場の人に知識・情報を教えた方が自分の仕事がはかどる	1	2	3	4	5
②　職場の人に知識・情報を教えるとイノベーションや会社の業績向上につながる	1	2	3	4	5
③　職場の人に知識・情報を教えると自分の評価が高まる	1	2	3	4	5
④　職場の人に知識・情報を教えると自分のアドバンテージが失われる	1	2	3	4	5
⑤　職場の人に知識・情報を教えたり助けたりすることが好きである	1	2	3	4	5
⑥　人に知識・情報を教えることが苦手である	1	2	3	4	5
⑦　同じ専門分野の研究開発者の平均よりも優れた専門知識・技術を持っている	1	2	3	4	5
⑧　他者に対して、経験や体験談をうまく説明して理解してもらえる能力を持っている	1	2	3	4	5
⑨　他者の知識・情報を吸収して理解できる能力を持っている	1	2	3	4	5
⑩　職場内で自分だけが持っている技術・知識・経験は報酬がなくても同僚・他人へ提供できる	1	2	3	4	5
⑪　情報の所在（誰がその分野の専門家であるか、など）に関して、報酬がなくても同僚・他人へ情報提供できる	1	2	3	4	5

Q9　あなたの教育訓練や学習の機会についてお聞きします。**過去１年間**に、表中の２項目に関する訓練や能力開発に費やした時間はおよそどれくらいですか。「**就業時間**に通常の仕事を一時的に離れて受講した教育訓練（Off-JT）」と「業務ではなく**自分の自由時間**に行った能力開発活動（自己啓発）」に分け、各項目について該当する時間（0 時間＝１、10 時間未満＝２、10－20 時間未満＝３、20－50 時間未満＝４、50 時間以上＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

なお自己啓発とは、現在の仕事を遂行する**能力を高めるための活動**をいいます。

	Off-JT					自己啓発				
①研究・開発に関する知識や技術情報に関する内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②マネジメントやマーケティングなど研究・技術領域外の内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【D 群】 職場・業務についてお尋ねします。

Q10　あなたの上司・仕事についてどのように考えていますか。各項目について当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	該当しない 1・・・・・・・2・・・・・・・3・・・・・・・4・・・・・・・5				該当する
①　上司はあなたのアイデアや意見に耳を傾けてくれる	1	2	3	4	5
②　上司はあなたとのコミュニケーションを密にとっている	1	2	3	4	5
③　上司はあなたの仕事上の障害を取り除くよう助けてくれる	1	2	3	4	5
④　上司はあなたの仕事上の成果をほめてくれる	1	2	3	4	5
⑤　上司はあなたがチャレンジングな仕事に取り組むことを奨励してくれる	1	2	3	4	5
⑥　仕事内容・仕事のやり方に自己裁量の余地がある	1	2	3	4	5
⑦　探索的な仕事である	1	2	3	4	5
⑧　創造性や新しいアイデアを要求される仕事である	1	2	3	4	5
⑨　チームワークを必要とする仕事である	1	2	3	4	5
⑩　納期・完成期・締め切りがタイトである	1	2	3	4	5
⑪　海外拠点との頻繁な情報交換を必要とする仕事である	1	2	3	4	5

Q11　あなたが働く**職場**についてどのように感じていますか。各項目について当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	該当しない 1・・・・・・・2・・・・・・・3・・・・・・・4・・・・・・・5				該当する
①　従業員の創造性を伸ばすことに熱心である	1	2	3	4	5
②　失敗が許されない風土がある	1	2	3	4	5
③　研究開発のためのリソース（資金、時間等）が十分に与えられている	1	2	3	4	5
④　他の職場の人と話し合うことが奨励されている	1	2	3	4	5

海外拠点と連携した研究開発を行う職場で働いていらっしゃる方にお聞きします。あなたが働く職場が、海外拠点と連携した研究開発を行っていない場合は、Q13 にお進みください。

Q12　あなたの**職場**では、以下の各項目をどの程度実施していますか。各項目について当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に〇をつけて下さい。

	実施していない　　実施している 1・・・・・・2・・・・・・3・・・・・・4・・・・・・5				
①　海外拠点の研究開発者とのコミュニケーションを密に取る	1	2	3	4	5
②　海外拠点の外国人研究開発者が日本で一定期間働く研修制度がある	1	2	3	4	5
③　海外拠点とグローバル研究開発の方針を共有する	1	2	3	4	5

【E 群】　人事管理についてお尋ねします。

Q13　あなたの**会社**では、以下の項目がどの程度該当しますか。各項目について当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に〇をつけて下さい。

	該当しない　　該当する 1・・・・・・2・・・・・・3・・・・・・4・・・・・・5				
①　人事評価では、チームメンバーが互いに連携し合うプロセスが重視されている	1	2	3	4	5
②　個人よりも所属チームのパフォーマンスが報酬に反映される	1	2	3	4	5
③　チームの業績への個人の貢献度が人事評価では重視されている	1	2	3	4	5
④　新しい知識や技術を社内研究開発者間で共有することが奨励されている	1	2	3	4	5
⑤　研究開発の新規情報を共有するための社内研究発表会などが定期的に開催されている	1	2	3	4	5
⑥　知識・情報・技術を社内の仲間に伝達する研究開発者は高く評価される	1	2	3	4	5
⑦　海外の人的ネットワークを仕事に活用することは高く評価される	1	2	3	4	5
⑧　海外勤務経験のある日本人研究開発者は高く評価されている	1	2	3	4	5
⑨　海外勤務を支援する研修（語学・異文化理解等）が行われている	1	2	3	4	5
⑩　研究開発者の海外派遣や留学制度がある	1	2	3	4	5
⑪　研究開発プロジェクトの編成において、研究領域の異なる人材の組み合わせを重視する	1	2	3	4	5
⑫　プロジェクトチームでは研究開発者の国籍を多様化する	1	2	3	4	5

【F 群】成果についてお尋ねします。

Q14　あなたは業務において、以下の行動をどの程度行っていますか。ご自身の自己評価（チームとしての評価は含まない）をお答え下さい。各項目について当てはまる程度を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	該当しない 1	2	3	4	該当する 5
①　創造的なアイデアを思いつくことがよくある	1	2	3	4	5
②　新しいアイデアを実現に向けてまとめることがよくある	1	2	3	4	5
③　新たな問題解決策を思いつくことがよくある	1	2	3	4	5
④　業績達成のための新たな手段を提案することがよくある	1	2	3	4	5

Q15　以下について、ご自身の**過去 2 年間（2013, 2014 年度）**の実績を記入して下さい。ただし、該当する成果がない場合は「0」を記入して下さい。なお、ご自身が単独で出されたものだけでなくチームの一員としてかかわった数も含めて下さい。

①　新製品（含新型モデル）のリリース件数	（　　）件
②　特許出願数	（　　）件
③　特許出願は可能だが、出願しなかった技術件数	（　　）件
④　学術論文数	（　　）件
⑤　④のうち英文論文の数	（　　）件